

開学 35 周年記念式典挨拶

2022 年 4 月 20 日

静岡県立大学学長 尾池和夫

開学 35 周年、まことにおめでとうございます。同窓会連合会のお世話で今日の記念日にたくさんの方が集まっていたいただきありがとうございます。と申しましても、教室では市松模様に着席していただいておりますが、遠隔でご参加いただけるように配信もしており、世界からご参加いただけるというメリットもあります。

4 月 20 日の今日は、二十四節気の穀雨です。田畑の準備が整い、それに合わせて春の雨の降るころと言われます。穀雨とは、穀物の成長を助ける雨のことで、『暦便覧』には「春雨降りて百穀を生化すればなり」と記されています。この穀雨の終わりごろで、次の二十四節気である立夏の直前に八十八夜(立春の 87 日後の日)があり、茶摘みが行われます。まことにこの大学にふさわしい季節でもあると言えます。

さきほど、検索して「今日は何の日」と調べてみたのですが、日本人は語呂合わせがすきですね。「腰痛ゼロの日」だそうです。「よ(4)うつう(2)ゼロ(0)」の語呂合わせだそうです。腰痛ゼロで発展する大学にいたしましょう。

この大学は、1987 に開学しました。静岡県立大学とともに短期大学も開学しました。2007 年、静岡県公立大学法人は生まれ、その法人が静岡県立大学と短期大学を設置し、教職員はこの法人の職員ということになりました。初代の鈴木理事長が就任しました。2009 年には今日ご出席いただいている木苗先生が第 5 代学長に就任されました。昨年 4 月、理事長と学長が 1 人で兼任するという制度に変わり、私が第 5 代理事長と第 7 代学長を兼ねることになりました。

た。

現在、この大学は5つの学部、9つの学科、1つの学府と3つの研究科に9つの専攻を持つ大学院に、3000余名の学生がいるという大学になりました。そのうちの2000名ほどが静岡県内から、その他は沖縄から北海道までの全国から来られ、さらに世界から入学して来られます。

昨年での理事長と学長の一体化に関連して、今までの分かれていた事務体制を一本化しました。さまざまな事柄が早く進むようになりました。例えば、生理用品を無償でトイレに置くということが学生たちの要望をもとにいち早く実現しました。また、初めて国際学生寮が完成し、「富学寮」と命名されました。私は静岡県森町出身で世界的な書家である杭迫柏樹さんをお願いしてその名を対処していただきました。これを寮に掲げて、日本の書を留学生たちに見てもらいたいと思っています。今、5人の日本人学生とマレーシアからの学生たちが寮の畑を耕して、アスパラガスなどを育てています。

前の鬼頭学長が、2019年にSDGs宣言を発しましたが、その最後は「未来へつなぐ」という言葉で表現されています。私は、未来へつなぐ具体的な方向の中で、新しい学部の設置も考えています。これからは生涯健康で、生涯学習歴を更新する世の中であると考えています。そのような力を持って、学生たちには卒業してほしいと思っています。仮に生涯健康科学部というような学部を作りたいと思います。新しい学部には、今の短期大学の歯科衛生、社会福祉、子ども学科などからも貢献していただけたらと思います。

また、今年度からグローバル地域センターには、自然災害研究部門を置きました。それによって、自然災害の研究を進め、静岡県が

健康と安全で長寿の県と言えるように地域貢献を実現していきたいと考えています。

先日、旧県立厚生保育専門学校保育学科同窓会の会員 5 名の方が学長室にいられて、短期大学部保育士養成課程の 4 年制化を求める署名と要望書を提出されました。県内の企業や県外の保育士ら 3 万 2 1 5 人の署名を集めてこられました。そのようなご要望にも前向きに応えられるように将来計画を練り上げて行きたいと思っています。

2021 年 11 月 24 日、静岡県立大学同窓会連合会の発足式が開催され、山田会長が就任し、木苗先生と合田先生が特別顧問に就任されました。私も祝辞を述べさせていただきました。5 学部の同窓会とおおとり会の連合組織です。おおとり会は、静岡女子短期大学(昭和 26 年～昭和 43 年)と、静岡女子大学(昭和 42 年～平成 2 年)の卒業生の同窓会です。

短期大学にも同窓会があり、その母体となった教育機関にも同窓会があります。それらもぜひ将来、一緒に活動していただけないかなと思っています。

「わが夢を超えて」という学歌があります。今は、あまり皆さんで歌ってもらえないのですが、入学式や卒業式では式典の前に演奏を流してもらっています。それはそれとして、気楽に口ずさむ学園歌があってもいいと思います。それも同窓会連合会の発足の記念にお考えいただけないでしょうか。

思いつくままに、さまざまなことを話しましたが、今後とも皆さんのご支援をよろしくとお願いして、開学 35 周年式典のご挨拶といたします。

ありがとうございました。